

# かめだ図書館だより

新潟市立亀田図書館（江南区文化会館内）第34号 令和3年10月発行



## 図書館の本でおうち時間充実!!

10月23日(土)から11月30日(火)まで、秋の読書週間です♪

### おはなしのじかん

絵本の読み聞かせや手あそび等をおこないます。秋の読書週間に実施する「おはなしのじかん」は、右のとおりです。スペシャル回もありますので、ぜひご参加ください。

会場：江南区文化会館 保育室  
時間：午前10時30分から10時50分  
定員：先着4組まで

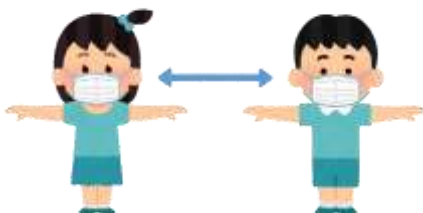
10月 24日(日)  
27日(水)  
30日(土) ★スペシャル★  
11月 6日(土)  
10日(水)  
20日(土)  
24日(水)  
28日(日)



※「おはなしのじかん」では、新型コロナウイルス感染防止に配慮しています。ご協力ください。



・入場前に手指の消毒を



・組ごとに距離を空け着席



・マスクを着用します

### 読書ノート・ぬいえを配付します

読書ノートは、読んだ本を書き留めておくためのノートです。小さいお子様向けに『ぬりえ版』もあります。20冊分たまると、るーぼんのシールをプレゼント!

また、限定版の大人向け読書ノートを配付します。どうぞご利用ください。

期間：10月23日(土)から

大人向け読書ノートは限定100部(なくなり次第終了)

新しいぬりえは「どんぐり」と「ふうせん」!たくさん借りてたくさんぬってね♪





## 俳句の窓

江南区は昔から俳句が盛んな土地柄です。  
地域の俳人・小嶋紅円こうえんさんから、  
江南区にゆかりのある俳人の句を紹介させていただきます。

### 法要を営む寺の帰り花

島名レイ

東区在住の作者が、年忌法要のお寺で帰り花を拝見し、詠まれた。帰り花とは、桜などが季節はずれに咲かせる花のことである。おもに初冬の小春日和のころに咲くことが多い。とても哀愁感があり、何気ない晩秋の様子の一語である。

### 雲かかる青き遠山秋とおやまあきざくら桜

中島茂子

同じく東区在住の作者の作品。秋桜とはコスモスのこと。秋の青空の下では、遠くの山々が、くっきりとした山の端で青々と見えるものである。近くに秋桜がなびき、はるかか嶺に白い雲が、かかっている絵になる風景を詠まれた。



小嶋紅円さん……本名、小嶋健一。江南区下早通生まれ。田村山火・紅子さんか べにこ夫妻に俳句を教わる。俳誌『雪』に投句。著書に『世継よつきほだ楯』、『続世継楯』（俳句・俳文集）。



## 展示コーナーのようす (展示期間：10月7日から11月30日まで)

### 一般展示 わたしの仕事

世の中には、様々な仕事があります。その道のプロが書いた本や、仕事で役に立つような本を集めました。



### 児童展示 きみも芸術家

芸術の秋！いろいろな絵や工作、音楽など、芸術を楽しんでみよう！



## 図書館の Twitter(ツイッター)を始めました

新潟市の図書館のイベントや様々な本の情報を発信していきます。  
返信やご質問に対する回答はいたしません。ご了承ください。

<https://twitter.com/niigatalib>

 新潟市立図書館  
公式Twitter  
(@niigatalib)



『かめだ図書館だより』第34号 令和3年10月発行(年4回発行)

編集・発行：新潟市立亀田図書館(新潟市江南区文化会館内) 新潟市江南区茅野山3-1-14  
電話：025-382-4696 ホームページ：<https://www.niigatacitylib.jp>  
FAX：025-381-8003 メールアドレス：[kameda.cl@city.niigata.lg.jp](mailto:kameda.cl@city.niigata.lg.jp)